

本時のねらい

- 自分の考えた物語の構成をもとに、コマ撮り動画を作成することができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ロイロノートを使用し、物語の設定、あらすじを考え、思考を整理する。
- アプリ「komakoma」を使用し、コマ撮りアニメーションを作成する。
- ロイロノートの録音機能でふりかえりを行うことで、書くことが苦手な児童も学習の記録を残すことができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ロイロノート
- アプリ「komakoma」

本時で育む主な情報活用能力

D-STEP 1, K-STEP 1
M-STEP 1

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	- めあてと本時の流れを確認し、見通しをもつ。 - めあて「10秒アニメーションをつくろう！」 - アプリ「komakoma」の使い方や、活動する上での約束を確認する。 - 本時までに自身で作成した「構成シート」(ロイロノート)を見て、物語の内容を確認する。【写真1】	ロイロノートを使い、児童が前時に、物語をはじめ・中・おわりに分け、それぞれのあらすじを記入しておくことで、物語の流れを確認しやすくする。
展開 (30分)	- アプリ「komakoma」で写真を撮り、10秒アニメーションをつくる。【写真2】 - 作成したアニメーションを確認し、付け足しや改善するところを考える。	- 撮影したコマ撮り写真をボタン一つで1枚戻ることができるため、納得がいくまで何度でも取り直しができる。 「構成ノート」で考えた内容を、再度確認することで、構成をいつでもふりかえることができる。
まとめ (10分)	- 自身の作品の工夫した点や、注目してほしい点などを発表する。 - 友達の作品を鑑賞し、感想を伝え合う。 - 本時の振り返りをロイロノートの音声機能を使って録音する。【写真3】	完成した作品をロイロノートに貼り付け、振り返りを音声機能で録音することで、見返しやすくする。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】『構成シート』の確認



【写真2】「アプリ『komakoma』を使用し、10秒アニメーションを作成」



【写真3】「ロイロノートの録音機能を活用し、学習のふりかえりを録音」

児童生徒の反応や変容

- ロイロノートで物語の設定、あらすじを考えたことで、コマ撮りアニメーションを作る際に、すぐに確認を行うことができたり、具体的に想像したりすることができた。また、国語との教科横断的な学習ができた。
- 「komakoma」の操作が分かりやすく、一度確かめたり、やり直しをしたりしながら、試行錯誤することができていた。
- 1つの作品ができることで、友だちに工夫したポイントをたくさん伝えることができ、自信につながる事ができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ロイロノートを活用することで、学習の記録が分かりやすくなった。
- 練習として、実際に「komakoma」を使ってみることで、コマ撮りアニメーションの具体的な想像ができた。また、操作の方法が分かりやすくなり、本番では、スムーズに作成することができた。